

「なすかしの森サバイバルキャンプ」報告

令和2年2月22日（土）～23日（日）1泊2日



【目的・趣旨】

那須甲子の冬の自然環境を生かし、過酷な環境下でも楽しく快適に過ごす工夫をゲームなどの体験を交えながら修得する。また、プログラムを通じて様々な困難等の事態に適応できる技能と知識を身に付ける。

【募集対象／実績】

《募集対象》小学3年生～中学校生までの児童・生徒 30名程度

《実績》52名参加 中学生・・・2名 小学生・・・50名

【プログラム概要】

【1日目】令和2年2月22日（土） 天候：曇りのち雨

12:30 集合・受付 [エコルーム1]

13:00 であいのつどい [エコルーム1]

13:40 仲間づくり活動 [エコルーム1]

自己紹介に加え、チームビルドに有効なアイスブレイク（ラインナップ、ペーパータワーなど）を実施した。

15:30 サバイバルグッズ作り [エコルーム1]

班ごとにパラコードの束を渡し、パラコードブレスレットを製作した。



17:00 夕べのつどい

17:20 夕食 [食堂]

18:10 ナイト OL [エコルーム1・施設周辺]

ポイント OL C マップを用いて、班ごとに得点を競う OL を実施した。

19:30 快適な寝床作り活動 [エコルーム1・2]

寝袋・マット・災害用毛布・段ボール・新聞紙を配り、暖かく眠る方法を考えた。

21:30 就寝 [エコルーム1・2]

【2日目】令和2年2月23日（日） 天候：雪

06:50 朝食

07:30 宿泊室片付け・清掃

08:45 雪中トレジャーハント [エコルーム2・施設周辺]

野外炊事で使用する食材が入った袋を OL のポイントに隠し、班で探す活動を実施した。

11:00 身近なもので野外炊事体験 [エコルーム2]

班ごとにジップロックを使った炊き込みごはんを調理した。

13:45 アンケート記入・ふりかえり [エコルーム2]

14:20 わかれのつどい [エコルーム2]

14:50 解散

【成果】

- ・チームビルディングの時間を長めにとったことで、班員同士の交流が深まった。その後のクラフト活動では、年長者が年少者へ作り方のコツを教えるなどの気遣いができていた。
- ・ナイトオリエンテーリングでは、ロープを用いて暗闇でもはぐれない方法を相談している班があり、与えられた道具を効果的に使っていた。
- ・雪中トレジャーハントでは、時折ホワイトアウトのような状態にさらされることもあったが、班員同士が励まし合いながら吹雪の中を散策していた。また、体力に余裕のあるものが踏み跡を作ることで、班員が歩きやすいように工夫している点も見られた。
- ・寝床づくりでは、新聞紙を利用して枕を作ったり参加者同士で身を寄せて眠るなど、快適に過ごす方法を模索していた。
- ・クラフト活動では、家族に作り方を教えるため休憩時間を利用して複数個作る参加者が見られた。

《参加者の声》

- ・「冬のなすかしで生活するのがとてもきびしいということがわかった。」「仲間と協力して、おいしいものが作れた。(野外炊事)」「災害がおきた時に利用できるのもとてもいいと思いました。」「寝床作りで、新聞を枕にしたり工夫する点がおもしろかった。」「トレジャーハントが宝探しのようで、仲間と協力できて楽しかった。」「パラコードで、家族でキャンプに行ったときなどに教えていっしょに作りたと思った。」「今度はテントで寝泊まりがしたい。」

【課題と方策】

- ・例年より積雪が少なく、当初想定していたプログラムを急遽変更した。当日は予想に反して十分な積雪があり、想定していたプログラムに近いものを実施できたが、雨天時などの荒天プログラムをあらかじめもう少し練っておく必要があった。
- ・この活動を行うことで、どのような能力や知識が身に付くのか、参加者に伝えきれていない面があったため、活動開始時のインストラクションを十分に行う必要があった。

国立那須甲子青少年自然の家【作成】 事業推進係：折内 雅俊

